

次の文章を読んで、問題に答えましょう。

「履修登録とシラバス」

大学で学ぶ科目は、一般的な教養を幅広く身に付けるための「一般教育科目（一般教養科目）」と、学部・学科ごとの専門的な内容を学ぶための「専門科目」とに分かれています。大学では、このうちのどちらかだけを勉強すればよいというわけではなく、両方を学ぶことになっています。豊かな人間性を養うために、専門的な内容ばかりに偏らないように配慮されているわけです。多くの場合、1、2年生のうち是一般教育科目を中心に学び、3年生以降は専門科目を中心に学ぶことになります。

学部・学科によって、それぞれ卒業までに必ず学ばなければならない必修科目が定められていますが、それ以外は学びたい科目を自由に選択することができます。自分の時間割を自分で決めることができるわけですが、自分がどの科目を受けたいかについては、決められた期日までに大学に届け出る必要があります。この手続きを「履修登録」と言います。「履修」とは、その科目の成績評価基準を満たし、単位を取得することだと思えばよいでしょう。

どの科目を選択するかを決める際には、シラバスを参考にしましょう。シラバスとは、それぞれの科目についての詳しい説明のことで、その科目の内容や目的、スケジュール、成績評価方法、履修条件*などが記載されており、「講義概要」「授業計画」などと呼ばれることもあります。入学時のオリエンテーションの中心が、この「履修登録」や「シラバス」の説明になります。

選択科目を決めるのは、そんなに難しくありません。必修科目の時間割があらかじめ決まっているため、その時間は他の科目を選択できません。したがって、選択できる科目は限られてきますので、その中から自分の興味・関心に合致するものを選べばよいでしょう。登録手続きについても、大学から配布される履修案内に詳しい方法が示されているので、それほど心配することはありません。どうしても分からないという場合は、教務課などに相談してみましょう。

*例えば、「〇〇学入門を履修している者に限る」「△年生以上」など。

問1 空欄に入る言葉を下の語群から選んで書き込んでください。

- (1) 大学の科目は、幅広い教養を身に付けるための [] と、学部・学科ごとの内容を学ぶ [] とに分かれています。また、卒業までに必ず学ばなければならない [] も定められています。

必修科目	選択科目	専門科目
一般教育科目	演習科目	実習科目

- (2) 科目の成績評価基準をクリアして単位を取得することを [] と言います。また、科目ごとの内容や授業の進め方、成績評価基準などを説明したものを [] と言います。

登録	履修	実習
カリキュラム	シラバス	オリエンテーション

問2 講義を4回欠席し、レポートは1度も提出しませんでした。試験では80点取りました。以下のような基準の場合、どのような成績評価になるのでしょうか。

S A B C D E

成績評価

S：90点以上 A：80点以上 B：70点以上 C：60点以上 D：59点以下
(C以上で単位取得を認定、Dの場合は認定せず)

認定基準

出席点 30% レポート 20% 試験 50%

- 講義は全15回。出席点は100点満点で、1コマ欠席すると10点減点。
- レポートは2回。内容に関係なく、提出すれば各50点。
- 試験は1回のみ。100点満点。